項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

1．保健衛生総務費

保健師業務については、子ども家庭係と連携し、保健師５人（内２人産休育休取得）は、成人担当、母子担当、介護予防担当に配置し、保健事業を実施。管理栄養士２人（内１人産休・育休取得。通年でパート管理栄養士１人）は、母子、成人、高齢者に対して保健師との連携のもと栄養士業務を実施した。

１．保健師、栄養士事業の活動状況　（単位：回）

項　　目	保健師		栄養士	
	７年度	６年度	７年度	６年度
家庭訪問	192	180	7	17
健康相談	447	436	146	202
健康診査	56	51	24	40
健康教育	64	74	35	57
予防接種	10	12		
合　　計	769	753	212	316

（１）家庭訪問事業

対象者に応じた健康相談、保健指導を行うことで、疾病の予防、重症化予防、育児不安の軽減などの効果があった。必要な対象者には継続訪問を実施している。

（単位：人）

項　　目	保健師		栄養士	
	７年度	６年度	７年度	６年度
妊産婦	20	32		
乳児（含む新生児）	21	32	0	0
幼児・学童	24	36	0	4
心身障害	5	5		
成人・生活習慣病	120	91	5	9
特定疾患	5	1		
高齢者	96	53	2	4
その他	36	65		
合　　計	327	315	7	17

2．予防費

１．母子対策

母子保健法、予防接種法、児童福祉法に関連する、訪問、相談、教室、健診事業、予防接種などを実施し、母性、父性の意識を高め、乳幼児期の子どもの健やかな成長を促進した。

（１）相談事業

①妊産婦相談

妊娠、出産に伴う体調の変化や悩みに応じた保健指導を行うことで、不安の軽減につながった。

年度	延人数
7	37
6	42

②赤ちゃん相談

乳児期の発育の確認（計測）、授乳、離乳食、育児方法など月齢に応じた指導を行うことで、悩みや不安の解消につながった。

年度	延人数	回数
7	36	12
6	26	12

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

③おっぱい相談

授乳、卒乳の相談に対応し、児の発育の確認や母乳育児に関する不安や悩みの解消につながった。

年度	延人数	実施回数
7	45	14
6	39	14

（2）健康診査事業

妊婦健診、出産後の健診などの費用を助成することで、経済的な負担の軽減になった。

①妊婦健康診査委託

年度	対象者人数	交付者人数	交付率（%）	委託料（円）
7	36	36	100.0	2,762,620
6	43	43	100.0	3,113,190

※一般健康診査受診券１４回分、超音波検査受診券を１４回分助成。

※里帰り先での検査も償還払いにより支給している。

②妊婦健康診査・産後１か月生後１か月健診交通費助成

年度	申請者数（人）	健康診査（回）	助成額（円）
7	26	261	248,733
6	32	404	385,012

十勝管内の医療機関までの交通費（９５３円/回、１６回上限）を助成した。

＊北海道の補助１／２

③産後１か月・生後１か月健診費助成

年度	申請者数（人）	産婦健診（人）	１か月児健診（人）	助成額（円）
7	21	21	19	118,600
6	29	29	29	156,750

※産後等の１か月健診のため医療機関を受診する費用（保険適用外のうち上限６，０００円）を助成。

④新生児聴覚検査費助成事業

出生後１か月以内に聞こえの検査の助成を行うことで、経済的負担の軽減をはかり、必要な場合は早期に適切な療育につなげることができる。

年度	申請者数（人）	助成額（円）
7	23	68,200
6	31	93,000

⑤乳児健診（４か月児）

年度	対象者	受診者	受診率（%）
7	22	22	100.0
6	24	24	100.0

⑥乳児健診（１０か月児）

年度	対象者	受診者	受診率（%）
7	31	31	100.0
6	21	21	100.0

⑦幼児健診

ア．１歳６か月児健診

年度	対象者	受診者	受診率（%）
7	24	24	100.0
6	35	35	100.0

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

イ．３歳児健診

年度	対象者	受診者	受診率（%）
7	33	33	100.0
6	39	39	100.0

⑧幼児歯科健診（１歳６か月児健診・３歳児健診）の歯科健診結果

ア．１歳６か月児

年度	対象者	受診者	う歯有り者	割合（%）	う歯本数
7	24	24	0	0	0
6	35	35	0	0	0

イ．３歳児

年度	対象者	受診者	う歯有り者	割合（%）	う歯本数
7	33	33	0	0	0
6	39	39	3	7.7	9

⑨フッ素塗布及び歯科健診

年度	受診者	委託料（円）	摘　　要
7	19	47,150	町内３か所の歯科医院で塗布
6	33	80,850	

⑩フッ素洗口

認定こども園、町内保育所に入所している４歳児、５歳児を対象に実施。コロナ禍で数年中止していたが、７年度は全所属で再開され、むし歯予防に効果を示している。

（３）健康教育

①パパママ教室

両親が協力して安全な妊娠期を過ごし、母子ともに健康に出産ができ、出産後、父親が育児に積極的に参加できるように、助産師、保健師、管理栄養士による育児技術等の講話、実習を行う教室として実施した。

年度	区分		対象者	実人数	延べ人数	開催回数
7	初産婦		9	9	15	6回
	夫		9	8	13	
	経産婦		1	0	0	
	夫		1	0	0	
	合　計	妊婦	10	9	15	
		夫	10	8	13	
6	初産婦		13	11	22	6回
	夫		14	13	23	
	経産婦		1	1	2	
	夫		0	0	0	
	合　計	妊婦	14	12	24	
		夫	14	13	23	

②むし歯予防教室

年度	対象者	参加者	来所率（%）	回数
7	26	16	61.5	5
6	42	36	85.7	6

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

③パンダちゃん教室

育児不安や発育、発達に不安があるなど、集団（こども園など）に通園していない幼児と保護者を対象とした集団教室を実施し、遊びの提供、集団の場に慣れるなどの効果となっている。

年度	参加者延べ	回数
7	57	12
6	41	12

④２歳児教室

年度	対象者	参加者	来所率（%）	回数
7	31	31	100	6
6	36	36	100	6

⑤幼児の生活改善事業

町内保育所に所属する年中、年長児の保護者に幼児の生活実態アンケート調査を実施し、生活状況の分析結果を基に、保健師、栄養士が健康教室を実施し、子どもたちに望ましい生活習慣について学んでもらうことができた。

年度	対象者	参加者	開催回数
7	認定こども園	23	1
6	認定こども園、中士幌保育園、上居辺保育所	39	3

⑥離乳食教室「もぐもぐ教室」

実物見本を提示し、今年度より試食を行うことで中期・後期の離乳食について具体的にイメージできるようになった。

年度	対象者	来所者	来所率（%）	開催回数
7	26	26	100	6
6	22	22	100	8

２．伝染病予防

（１）定期予防接種事業Ａ類

予防接種により、感染の予防、感染拡大の予防を行った。各ワクチンの接種時期に、乳幼児健診、訪問、各種教室などで接種勧奨を行うことで接種率の向上を図った。

①ＢＣＧ接種

年度	区分	対象者	接種者	接種率（%）
7	乳幼児	26	25	96.2
6	乳幼児	23	23	100.0

②百日咳、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ（四種混合）予防接種

百日咳、ジフテリア、破傷風、不活化ポリオ、ヒブ（五種混合）予防接種

６年度より五種混合へ段階的に移行

年度	区　分		接種者	区　分	接種者
7	第１期	1　回	27	第１期追加	31
		2　回	27	合　計	111
		3　回	26		
6	第１期	1　回	27	第１期追加	42
		2　回	25	合　計	120
		3　回	26		

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

③ジフテリア、破傷風（２種混合）予防接種

年度	区分	対象者	接種者	接種率（%）
7	小学６年生	51	44	86.3
6	小学６年生	46	42	91.3

④麻しん・風しん混合予防接種

年度	区分	対象者	接種者	接種率（%）
7	１期	26	25	96.2
	２期	32	30	93.8
6	１期	28	28	100
	２期	39	37	94.9

⑤小児球菌ワクチン接種

年度	実人数	延人数
7	50	103
6	60	110

⑥水痘予防接種

年度	区分	人数
7	１回目	27
	２回目	21
6	１回目	28
	２回目	39

⑦子宮頸がん予防ワクチン接種

区　分	接種者延人数
定期接種	13

⑧B型肝炎予防接種　（単位：人）

年度	１回目	２回目	３回目	合計
7	26	26	28	80
6	27	25	20	72

⑨日本脳炎予防接種　（単位：人）

対象者	第１期（１回目）	第１期（２回目）	第１期 追加（３回目）	第２期（４回目）
平成７年４月２日～平成19年４月１日生（附則第５条第１項）20歳未満	1	1	1	2
標準的な接種期間３歳～４歳	23	27	22	
標準的な接種期間を除く対象年齢	0	4	7	32
計	24	32	30	34

⑩　ロタウイルス予防接種

	年度	１回目	２回目		合計
ロタリックス	7	21	19		40
	6	16	16		32
	年度	１回目	２回目	３回目	合計
ロタテック	7	5	7	6	18
	6	11	9	9	29

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（2）定期予防接種事業Ｂ類

①高齢者インフルエンザ予防接種助成

６５歳以上と６０～６４歳の内部疾患を有する者を対象に接種料金の一部を助成、生活保護受給者は全額助成とし、費用負担軽減と感染を予防した。

（単位：人）

区　　分	７年度	６年度
６５歳以上	989	1,007
６０～６４歳の内部疾患を有する者	1	2
合　　計	990	1,009

生活保護受給者　１１人

②高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種助成

６５歳（定期接種）、７０歳及び７５歳以上を任意接種として、予防接種歴の接種料金の一部を助成した

（単位：人）

区　分	７年度
６５歳	13
７０歳・７５歳以上	8

③新型コロナワクチン予防接種助成

新型コロナワクチンは、令和６年度から予防接種法において定期接種（Ｂ類疾患）に位置づけられ、士幌町国民健康保険病院を指定医療機関として助成した。

65 歳以上	18 歳～64 歳	高校生以下
176	23	2

（3）任意の予防接種

①インフルエンザ予防接種助成

１３歳未満に対しては２回、１３歳以上高校３年生までは１回を半額助成した。

（単位：人）

区　　分	７年度接種者	６年度接種者
１３歳未満（１回目）	127(町外 17)	165(町外 17)
１３歳未満（２回目）	112(町外 17)	160(町外 15)
１３歳未満（フルミスト）	41(町外 9)	
１３歳以上高校３年生まで	56(町外 4)	65(町外 6)
妊婦	0(町外 5)	2(町外 0)
合　　計	336(町外 52) 【非課税世帯 0】	390(町外 38) 【非課税世帯 0】

②おたふくかぜ予防接種

町外小児医療機関にて１歳から就学前までを対象に１回のみ接種料金の一部（２，５００円）を助成し、１歳児の接種が増加した。

（単位：人）

年度	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳	６歳	計
7	10	0	0	0	0	0	10
6	13	0	0	0	0	0	13

③風しん抗体検査助成及び風しん等予防接種

妊娠中の女性が風しんに罹患することにより、胎児に耳の聞こえなどの障がいが発生する可能性が高い胎児風疹症候群の対策として、妊婦の夫及び同居の家族と妊娠の可能性のある女性を対象にした風しん抗体検査、並びに風しん抗体価が低い方を対象にした風しん等予防接種の費用を助成した。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（単位：人）

項　　目	7年度			6年度		
	妊婦と同居の家族	女性	計	妊婦と同居の家族	女性	計
風しん抗体検査	1	1	2	0	0	0
麻しん・風しん混合ワクチン接種	0	0	0	0	0	0

④帯状疱疹予防接種

８０歳までに約３人に１人がかかる可能性があり、そのうち約２割の方が帯状疱疹後神経痛になると言われる帯状疱疹を予防するため、５０歳以上で過去に同ワクチンを接種したことがない方に、接種費用の一部を助成した。

内　容	実人数	延べ人数
不活化ワクチン	130	269
生ワクチン	42	42

（４）その他検診

①エキノコックス症検診　（単位：人）

年度	対象者	受診者数	擬陽性者	重点地区
7	小中学生	1	0	市街
	一　　般	83	0	
6	小中学生	5	0	中士幌
	一　　般	161	0	

※対象者は、小学３年生以上の町民（令和５年度より巡回型検診で同日受診可能）

３．成人対策

（１）健康相談事業

①成人、精神等相談

生活習慣病、心身の不調、感染症、食生活などに関する相談を受けることで、疾病の予防、重症化予防、適切な受診勧奨ができた。

（単位：人）

年度	項目	保健師対応	栄養士対応
7	電話相談	86	17
6		75	17
7	来所相談	75	22
6		66	87

②こころの悩み相談

こころの不調や、家族の不調に対する対応方法などに、精神科専門医師の相談を実施し、適切な受診行動や家族の対応方法の改善などにつなげた。

対象者	7年度		6年度	
	回数	人数	回数	人数
一般町民	7	7	1	1

（２）健康診断

①特定健診及び特定保健指導

４０歳から７４歳を対象とする特定健康診査を士幌町国民健康保険では町国保病院で実施する施設型、地域の施設を会場にして行う集団健診を巡回型として実施した。

また、脳ドックや人間ドックなど他の検診との併用健診、町外病院受診者への助成を実施した。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

内容（身体計測・血液検査・血圧測定・尿検査
詳細項目全員：心電図・眼底検査・貧血検査
町独自項目　：尿酸・クレアチニン）

※早期介入健診として、３０歳代の健診を実施（町国保独自）

ア．特定健診受診者数　　（単位：人）

項目		７年度	６年度
		計	計
40～74歳	施設型	33	28
	巡回型	332	381
他検診併用	日帰り人間ドック	21	15
	脳ドック	12	12
	ＰＥＴ	25	28
	他の医療機関	70	134
健診データ情報提供者	治療中その他健診	38	64
	企業健診	0	6
計		531	668

イ．受診率

	７年度	６年度
受診率	※47.1%	54.4%

※７年度は速報値

早期介入受診者（３０～３９歳）　２７人

ウ．検査の結果

区　分	７年度		６年度	
	該当者数	割合（%）	該当者数	割合（%）
メタボ非該当	352	66.3	458	68.6
メタボ予備群	71	13.4	73	10.9
メタボ	108	20.3	137	20.5
計	531	100.0	668	100.0

エ．特定保健指導対象者

区　分	７年度		６年度	
	該当者数	初回面接実施者	該当者数	初回面接実施者
動機付け支援	44	35	58	53
積極的支援	8	6	23	21

オ．健診結果説明会

巡回型健診の健診結果事後指導として年８回開催し、個別指導を３１４人に実施した。体験型の内容を取り入れたり、糖尿病等、生活習慣病予防を図った。

区　分	人　数
若　年	5
特　定	273

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

後　　期	36

カ．特定健康診査新規対象者（４１歳）受診勧奨事業

受診率向上を目的に、特定健康診査新規対象者に健診内容の説明や健康相談、受診勧奨を家庭訪問にて実施した。直接、勧奨することで受診率の向上につなげた。

年　　度	対象（人数）	訪問（件数）	受診（人数）	受診率（%）
7	27	22	12	44.4
6	27	23	16	59.2

②がん検診

ア．胃、肺、大腸がん検診（４０歳以上）

内　容	性別	対象者	施設型	巡回型	PET	受診者計	受診率(%)
胃がん検診	男	682	19	66		85	12.5
	女	651	2	62		64	9.8
合　　計		1,333	21	128		149	11.2
肺がん検診(結核検診)	男	939	29	112	21	162	17.3
	女	960	11	146	19	176	18.3
合　　計		1,899	40	258	40	338	17.8
大腸がん検診	男	682	26	94	21	141	20.7
	女	651	8	142	19	169	26.0
合　　計		1,333	34	236	40	310	23.3

乳がん検診（３６歳以上）、子宮がん検診（２０歳以上）

内容	集団検診	個別検診	合計
乳がん検診	87	38	125
子宮がん検診	83	81	164

イ．がん検診無料クーポン（一般）

４０歳に大腸がん・肺がん・胃がん検診無料クーポン券を発行して、検診費用を助成した。無料クーポンを発行することで早期発見の意識付けにつなげた。※巡回型検診と施設型検診（国保病院）のみで利用可能であるため、厚生病院等のドック利用者は含まれない。

内　　容	対象者	受診者	受診率（%）
大腸がん検診	85	11	12.9
胃がん検診	85	7	8.2
肺がん検診	85	11	12.9

ウ．早期がん検診（３０歳～３９歳）

内　　容	施設型		巡回型		人間ドック		受診者計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
胃がん検診	0	0	2	1	1	0	3	1
肺がん（結核）検診	0	1	3	1	1	1	4	3
大腸がん検診	0	0	4	1	1	1	5	2

エ．がん検診推進事業（女性特有がん検診）

節目年齢の女性に検診手帳及び無料クーポン券を発行して、検診費用を助成した。

内　　容	対　　象　　者		受診者	受診率(%)
子宮がん	20 歳	19	1	5.3
乳 が ん	40 歳	35	7	20.0

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

オ．脳ドック検診

３０歳以上６４歳までの町民５０人に、脳ＭＲＩ・ＭＲＡ検査、頸動脈エコー等を含み検査料の半額を助成した。また、特定健康診査の内容を含むため士幌町国保加入者には、特定健康診査分の助成を実施し、脳動脈瘤等の脳血管疾患の早期発見につなげた。

（単位：人）

区　分	７　年　度		６　年　度	
受診者		29		49
発見された所見（内訳延人数）	眼底検査所見	2	髄膜腫	1
	頸部エコー所見	2	内頸動脈瘤	2
	血液検査所見	2	心電図異常	3
	頭部MRI	1	眼底検査所見	1
	心電図異常	1	甲状腺腫大	1
			動脈狭窄	1

カ．ＰＥＴがん検診　（単位：人）

年度	受診者数		
	40 歳～64 歳	65 歳以上	合　　計
7	23	17	40
6	25	21	46

キ．日帰り人間ドック（３０歳以上の町民）

検査日　　毎月第２・４週　木曜日（国保病院）

事後指導　毎月第２・４週　木曜日（国保病院医師・保健師・管理栄養士）

（単位：人）

年度	区分／性別	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	計
7	男	1	0	1	1	2	5	5	15
	女	1	0	2	0	1	0	1	5
	計	2	0	3	1	3	5	6	20
6	男	1	0	1	2	3	7	4	18
	女	0	0	0	1	2	1	2	6
	計	1	0	1	3	5	8	6	24

ク．前立腺がん検診　（単位：人）

項　　目	７年度	６年度
前立腺がん検診	121	121

ケ．骨粗鬆症検診　（単位：人）

項　　目	７年度	６年度
骨粗鬆症検診（ドックオプション含む）	54	79

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（3）がん発見者数　（単位：人）

項　　目	7年度	6年度
肺がん	0	0
胃がん	0	0
前立腺がん	1	2
大腸がん	1	0
子宮頸がん（HCIL 以上）	0	0
乳がん（疑い）	0	1

（4）健康教育

項　　目	7年度		6年度	
	開催回数	人数	開催回数	人数
健康講座（地区別、その他）	12	220	16	271
ウォーキング教室	1	13	2	32
筋骨格系運動教室	8	125	4	90
ウオーキングラリー（アプリ）	2	572	1	265
早期介入運動教室	4	10	4	14
こども料理教室	2	22	2	27

（5）ミニ健康まつり

日　時：令和7年7月２９日（火）

内　容：体験型の健康チェック、健康に関する展示物、試食

参加者：４７人

（6）健康マイレージビンゴ事業

生活習慣病予防に関連する各種事業の参加を促すことを目的に、スタンプを集め、集まったスタンプによって商品券等と交換に内容を変更し実施。

年度	7年度	6年度
登録者数	127	241

（7）健康チェック

ベジタブル摂取量測定

測定者：　４０５人

（8）自殺予防対策事業

①「こころの健康づくり展示コーナー」の設置

したしみ図書館　令和８年３月実施

②特定健診会場、健康まつりでのパンフレット、啓蒙グッズの配布

③ こころの健康パンフレットの全戸配布

④ 町ホームページでの周知啓蒙

４．後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業

健康管理・疾病予防およびフレイル対策・重症化予防等を目的として、北海道後期高齢者医療広域連合より委託を受け実施した。

（1）後期高齢者健康診査事業

後期高齢者健診

病気の重症化を防ぐことを目的とした、後期高齢者医療制度に加入している方を対象とした健診を実施した。

（単位：人）

対象者	受診者	無料クーポン	受診率
1,041	68	16	6.5

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
	（2）後期高齢者歯科健康診査事業 残存歯減少・義歯の不具合などから栄養状態の偏りにつながらないようフレイル予防の一環として町内歯科医院で歯科健診ができる無料の受診券を発行した。家庭訪問やサロンでの勧奨を行い希望者に歯科健診を実施した。 受診者　２６人 （3）保健・介護一体的実施推進事業 ①通いの場での健康相談及び健康講座の開催 老人クラブ及びサロン１１箇所（延べ１５箇所）で健康相談を実施した。 相談件数延べ１８７人 ②家庭訪問事業 保健師が健康状態の把握を目的とした家庭訪問を実施した。 健康状態不明者（健診未受診であり医療機関受診歴無し）２人 生活習慣病重症化予防対象者（脳梗塞既往ありその後受診につながらなかった方）１人 重複頻回受診者家庭訪問（3ヶ月以上同一月内に同様の効能・効果を持つ薬剤を複数の医療機関より処方されている方）　６３人 ③ 多剤服薬指導事業 レセプトデータより６種類以上１４日以上の長期処方のある後期高齢者２０１人に服薬情報を通知、節薬バッグを配布し医療費削減のための啓蒙活動を実施した。 ④ 医療費データ分析 後期高齢者医療費分析・服薬情報通知事業・生活習慣病重症化予防リストを株式会社データホライゾンに提供し、分析を委託保健指導に活用した。 ５．熱中症対策事業 熱中症予防対策として、町内各所に『涼み処』の開設を行った。（７月１日から９月３０日） （1）開設数　常設開設　４カ所 熱中症特別警戒情報・熱中症警戒情報発令時のみ開設　１０カ所 （2）涼み処利用者数 熱中症特別警戒情報・熱中症警戒情報発令時　19 常時開設時　9
３．環境衛生費	町民の快適な生活環境保持向上を目指し、各種の環境衛生事業を推進してきた。 １．野生大麻・不正けし除去状況 不法採取の危険性が高い野生大麻は、地域安全上からも不審者対応が望まれることから駐在所と協力し巡回パトロールを随時行った。また、自生地域の拡大を防ぐため、野生大麻の抜き取り作業を実施した。 不正けしについては、情報、発見等がなく駆除はなかった。 大麻・けし駆除本数実績　（単位：本） 年　度 / 野生大麻 / 不正けし 7 / 7,175 / 0 6 / 3,530 / 0 5 / 6,908 / 0 4 / 15,240 / 0 3 / 8,823 / 0 ２．空き地管理状況現地調査実施状況 「士幌町あき地の環境保全に関する条例」及び「とかち広域消防事務組合火災予防条例」に基づき美観上はもとより、害虫・火災の発生、さらには不法投棄の誘発など生活環境に支障を及ぼす原因となる空き地の草刈り等の管理について、広報誌等で周

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

知した。
　また、土地管理者６人に対し適正管理を指導した。

３．地域環境整備
　春は各団体・個人による活動が定着している。降雪前に空き地や道路の清掃等の協力を広報で呼びかけ、積極的な取り組みが実施された。

４．ハチの巣駆除費助成金
　早期発見・早期駆除を促進し、町民の安全確保を図るため実施した。
　助成実績　７８件（８２個）４１０，０００円

５．狂犬病予防事業
　畜犬登録・狂犬病予防注射頭数及び野犬掃討頭数

年度	年度末登録頭数	注射頭数	処分頭数
			野　犬
7	363	310	0
6	382	320	0
5	382	298	0
4	365	303	0
3	414	344	0

６．公害対策関係
（１）各種防止法に基づく届出の受理
　令和７年度は届出なし
（２）悪臭等
　澱粉工場の操業における悪臭発生も無く順調に排水処理も行われた。士幌農協の悪臭等に対する諸対策、対応効果が継続されている。
（３）河川水質検査
　検査は、音更川（４０号橋・士幌新橋・音和橋）、士幌川（北開２号橋・上居辺橋・東豊橋）、居辺川（朝陽橋上流・居辺橋・更生橋）の９地点で２回実施。９月の検査では、士幌新橋、上居辺橋、東豊橋で大腸菌数の基準値超えとなった。１１月の検査では、士幌新橋、上居辺橋は基準値内の数値となったものの、東豊橋では引き続き大腸菌数が基準値超えとなり、音和橋でも若干の基準値越えとなった。水温上昇による大腸菌数の活動活発化などの自然的要因との検査実施機関からの助言により、致し方ないものとの判断し、河川の状況確認パトロールの実施及び関係課と情報共有し、適切な管理に努めた。

７．火葬場施設関係
　使用状況　　（　）前年度

区　　分	件　　数	内訳			
		死亡	死産	改葬	部分
町 内 者	59 (77)	58 (77)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
町 外 者	8 (5)	8 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	67 (82)	66 (82)	1 (0)	0 (0)	0 (0)

　使用料　４５５，５００円（４０６，０００円）

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

８．墓地利用状況（３月３１日現在）

区分／地区	墓地区画数	内容				
		許可数	内訳			未使用
			6㎡	10㎡	17㎡	
中士幌	600	508	0	508	0	92
士　幌	607	369	20	349	0	238
下居辺	186	131	0	0	131	55

４．ごみ処理費

１．ごみ処理状況について

令和１０年度からの一般廃棄物中間処理施設の広域業務に伴い事務作業に着手や北十勝２町環境衛生施設の廃止に向け協議を進めた。

平成１７年１０月からのごみ有料化は、開始から２０年が経過した。

ごみの排出量は、可燃ごみが前年対比５３トン減、不燃ごみが前年対比２１トン減となり、総量で前年対比７４トン減の１，０５９トン、一世帯当たりのごみ排出量は、３８４ｋｇとなった。今後は広域処理移行に向け、更なる減量化に努めていかなければならない。

一方で、ポイ捨て等個人のモラルの欠如による不法投棄がなくならないため、警察や地域と連携し、啓発活動やパトロールを実施した。

（１）ごみ処理状況　（単位：kg）

年度	可燃物			不燃物				計
	委託	個人	小計	委託	個人	大型	小計	
7	676,820	184,310	861,130	91,350	73,560	33,100	198,010	1,059,140
6	692,140	222,450	914,590	91,270	98,430	29,460	219,160	1,133,750
5	707,710	239,200	946,910	89,610	103,180	22,830	215,620	1,162,530
4	694,430	206,880	901,310	95,940	91,340	26,340	213,620	1,114,930
3	702,330	227,040	929,370	97,490	127,230	29,620	254,340	1,183,710

（２）一世帯当たりのごみ排出量　（単位：kg）

年度	収集・処理量	世帯数	一世帯当たりのごみ排出量
7	1,059,140	2,755	384
6	1,133,750	2,726	416
5	1,162,530	2,744	424
4	1,114,930	2,766	403
3	1,183,710	2,748	430

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（３）ごみ袋等販売状況　（単位：枚・千円）

種類＼区分		７年度		６年度		５年度	
		販売枚数	販売金額	販売枚数	販売金額	販売枚数	販売金額
可燃用	5リットル	15,000	225	15,500	233	14,250	214
	10リットル	35,750	1,072	35,500	1,065	37,250	1,118
	20リットル	41,750	2,505	42,250	2,535	43,500	2,610
	30リットル	26,500	2,385	27,750	2,498	26,750	2,408
	45リットル	27,000	3,240	27,500	3,300	27,250	3,270
不燃用	10リットル	5,000	150	6,750	203	5,250	158
	20リットル	7,500	450	6,250	375	8,000	480
	30リットル	4,000	360	5,750	518	5,250	473
	45リットル	8,750	1,050	10,000	1,200	9,500	1,140
処理券		21,500	2,580	29,800	3,576	26,200	3,144
大型ごみシール		3,200	640	2,850	570	3,350	640

○令和７年度　北十勝二町環境衛生処理組合運営分担金　６８，１５２千円

２．資源リサイクル状況について

町民の理解と協力の下、順調な収集処理が行われている。

リサイクルの状況は前年対比３０トン減の５６２トンとなった。

中間処理後の有価物販売においては、前年度と比べ１，９５９千円増の９，８００千円となった。また、令和６年度から鉄金物の売払いを開始した。

平成２８年度に対象品目を拡大した小型家電は、前年度と今年度の収集量を合計した６１１kgが出荷された。

今後も、可燃・不燃ごみとの一層の分別を図り、ごみの減量と資源としての活用を推進していく。

（１）リサイクルセンター資源物受入状況

区　　分		７年度	６年度	５年度	４年度	３年度
新聞紙	kg	85,490	81,190	92,120	94,900	101,580
雑誌	kg	54,110	56,690	62,120	76,630	80,550
ダンボール	kg	102,130	105,790	114,180	114,120	118,420
プラスチック	kg	129,390	133,330	83,571	82,592	85,466
ペットボトル	kg	26,270	27,740	29,020	27,400	27,270
ガラス瓶	kg	46,537	64,270	52,626	55,996	59,656
紙パック	kg	2,410	2,690	2,190	3,170	2,760
アルミ缶	kg	13,580	12,790	15,280	14,291	13,630
スチール缶	kg	12,660	11,730	14,880	13,200	14,670
発泡スチロール	kg	2,350	2,850	2,340	3,560	3,840
その他紙	kg	28,192	29,004	31,072	32,452	33,912
古紙	kg	42,288	43,506	46,608	48,678	50,868
小型家電	kg	611	1,797	0	713	1,872
鉄金物	kg	16,126	18,369			
合計（重量）	kg	562,144	591,746	546,007	567,702	594,494

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

合計（販売額）	千円	9,800	7,841	6,194	3,255	3,702
集団回収還元金額	千円	572	586	605	767	796
利用団体数	団体	22	22	21	50	49
延べ利用回数	回	48	48	49	51	58

（2）上士幌町分プラスチック製容器包装中間処理業務
年間中間処理業務受託料　　２，４５７千円
受入重量　　５０，１７５kg

（3）生ごみ処理機等購入助成金
ごみの発生抑制、再利用を推進するため生ごみ処理容器等の購入費を助成した。
コンポスト　　１９件　　１０９，９００円
生ごみ乾燥処理機　１６件　　７５６，０００円

（4）十勝圏複合事務組合分担金
新中間処理施設（新くりりん）整備に係る分担金を支出した。
施設整備分　　１５，９１６，０００円

５．し尿処理費

し尿処理については、十勝圏複合事務組合に加入し、十勝川流域下水道浄化センターにおいて処理している。
収集運搬は許可業者がそれぞれ町民の要請により対応している。
浄化槽は、浄化槽法に基づく適正な管理及び検査が実施されるよう指導を行った。

（1）し尿・浄化槽汚泥搬入実績（十勝圏複合事務組合）　（単位：kl）

年　度	士幌町	他市町村	計
7	2,517.10	47,579.40	50,096.50
6	2,581.40	47,587.40	50,168.80
5	2,513.90	47,481.80	49,995.70
4	2,569.10	46,545.20	49,114.30
3	2,521.00	45,982.50	48,503.50

（2）し尿・浄化槽汚泥量内訳（士幌町）　（単位：kl）

年　度	し　尿	浄化槽汚泥	計
7	786.70	1,730.40	2,517.10
6	801.10	1,780.30	2,581.40
5	766.90	1,747.00	2,513.90
4	902.90	1,666.20	2,569.10
3	878.00	1,643.00	2,521.00

（3）浄化槽法による法定検査受検状況　（単位：基）

年　度	対象基数	使　用開始前	受検対象	受検数（7条・11条検査）			未受検	受検率
					適正	不適正		
7	557	3	560	483	458	25	71	87.3%
6	556	4	552	484	456	28	68	87.7%
5	548	3	545	475	442	33	70	87.2%
4	532	13	519	444	410	34	75	85.5%
3	543	10	533	457	419	38	76	85.7%

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
	（4）十勝圏複合事務組合負担金 衛生施設運営分担金　4，３００，０００円 衛生施設廃止分担金　2，０１５，０００円 下水道建設負担金　　２２，０００円